

東京消防庁からの大切なお知らせ

電子レンジ火災に注意！

最近、電子レンジで食材を長時間加熱しすぎて火災になるなど誤った使い方による火災が増えています。

電子レンジ火災を発生させないため、下記の事項を守り被害をなくしましょう。



火災事例

共同住宅の居室で、カップ麺を電子レンジで加熱したところ、カップ麺の容器から出火しました。火災に気づき、電子レンジの扉を開け消火しようとしたところ、火が着衣に燃え移り死亡しました。

電子レンジ火災を防ぐ普段の心得

冷凍食品などは、包装されたまま加熱すると出火することがあります。**包装の表示を確認してから加熱**しましょう。

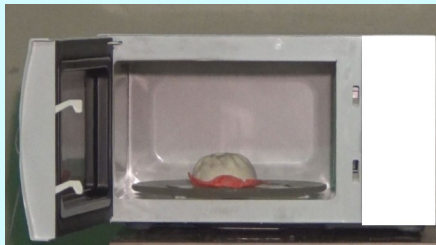
袋ごとレンジ不可

冷凍食品の包装の表示例

その場を離れず、**食品の様子を見ながら加熱**しましょう。

普段から電子レンジの周囲には、**可燃物を置かない**ようにしましょう。

さつま芋や肉まんなどは、**長時間加熱すると急速に燃焼する危険性**があります。**加熱時間を長めにせず、取扱説明書等で確認**しましょう。



700Wで
約5分加熱



写真の電子レンジ及び食品は、実際の火災とは関係ありません。

電子レンジ火災時の対応

扉を開けずに**電源を遮断**する。

扉を閉めたまま、あわてずに**庫内の様子を見る**。

火が消えなければ、扉を閉めたまま、**消火器具を準備**する。

※万が一火災が発生したときは、119番通報してください。

お問合せ先 東京消防庁の各消防署又は以下の担当まで



東京消防庁
Tokyo Fire Department